

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)		スーパー（副店長）	販売量の動き	・本来の景気とは関係ないが、台風19号の被災地に店があり、客のまとめ買いで単価が上がったこと、避難所がすぐ近くにあること、また、近隣のスーパー2店舗が浸水して営業できなかったため、来客数が増えている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・葬儀や墓じまい、永代供養墓や1人暮らしの高齢者についてなど、依頼や相談がとても多い。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・台風19号被災による競合店の閉鎖の影響で、やや良くなっている。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・台風19号の記録的大雨で川が氾濫し、多くの犠牲と浸水被害が発生している。大半の一般客のキャンセルに対して、復興支援、保険会社の被害の実態調査などの特需が起きている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・当店は学校指定の体育衣料を扱っているため、消費税増税だからといって、増税前に買っておくということはなく、ほとんど変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・消費税増税関連での商材の動きは、想像していたよりは少なく、特に目立ってはいない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・消費税が上がリ、多少影響があるかと思っていたが、余りない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・天候の影響が大きい。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・消費税が上がって若干影響が出てきたと思ったが、今回の台風19号の被災で、来客数が増えて売上も若干上がっているため、差引きゼロか若干プラスになる。余り変わってはいない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・以前は、休日になると買物などの人出が見込めていた。今は、必要な買物は単日で済んでしまう。決して景気が回復したとは思えないが、日常に連休が増えたからかレジャーに掛ける費用の割合は高いようである。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車両販売は消費税増税月のためか、様子見といった感じを受ける。車検、一般整備は前年並みの推移である。増税前の日用品大量購入に加え、台風19号の影響もあり、車業界だけでなく、他業界にも何らかの影響が出るのではないかと。
		タクシー運転手	単価の動き	・消費税2%分だけ料金が上がったが、多少売上が落ちているようである。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・インターネットの新規契約は、変わらないかやや上向きである。ただし、テレビサービスの動きが鈍い。ラグビーワールドカップなど注目されるコンテンツがないと、劇的な変化は生まれにくい。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・大雨のため当ゴルフ場へのアクセスが不良、天候不順によるクローズやキャンセルが多かった。ゴルファー自身もゴルフどころではない気分の日々が続いている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・相変わらず、依頼数は多く、仕事が間に合っていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・消費税増税だからということではないようである。災害報道や天候不順も、気持ちの上で出足を止めているのかもしれない。とにかく街への人出は本当に少ない。日中でも通りに誰もいない時間帯が多い。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・増税前の駆け込み需要が多少あり、消化できなかった仕事があるので、仕事量自体は変わらないものの、増税後の売上は良くない。多少の冷え込みは出てきているが、季節商材の動きも鈍い。	
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・消費税増税、キャッシュレスポイント還元への混乱があるものの、台風19号や豪雨に対する備蓄で、表面上は堅調である。	

	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年と比べて売上は20%減、来客数も10%減となっている。台風19号の影響で、当店の貸店舗5軒と病院に出店している売店が被災した。3日間、泥の撤去とごみの搬出をしたが、現地で作業をしないとこの惨事が実感できない。近所にある200人ぐらいが避難している避難所に、先日バナナを1ケース寄附した。避難者に話を聞くと「自宅のリフォームで半年は避難生活になる」とのことである。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・消費税増税のあおりも受けていると思うが、来客数は伸びず、8～9月とは対照的な動きとなっている。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・増税前の特需による反動で、集客が落ちている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税引上げ後の反動が見られ、車両販売やサービス入庫台数が減っている。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・10月に入って車両販売や高額商材等の販売が悪くなっている。2%の増税がきっかけになっているようである。
	自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・10月からの消費税増税や台風19号による災害もあり、売上が前年比70%程度に落ち込み、販売量は減ったまま戻らない状況である。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・10月に入って消費税増税や台風19号の被害で、予約のキャンセル、自粛ムードが高まり、予想以上の不景気に陥っている。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・台風19号の被災地にある。いつも以上に道路は渋滞気味である。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・台風19号の水害により、家やテレビ等の家電製品まで被害に遭い、契約の保留が出てきている。今後どの程度影響が出るかは予想がつかない。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・月前半は消費税増税の影響が低調に始まったが、台風19号の後は鉄道、高速道路の不通があり、壊滅的な状態である。
×	百貨店（店長）	販売量の動き	・増税前の駆け込みがさほど大きくなく、増税後の影響も比例して大きくないのではないかと少し期待していたが、想像以上に客の買い控えは大きい。そこへ台風19号があり、直接的な影響は1日だけだったが、大きな被害を受けた地域もあるため、ムードは悪い。消費にも影響が出ており、大きく売上を落としている。
×	スーパー（経営者）	それ以外	・10月は消費税増税、台風19号や水害などの影響で、消費者マインドは急激に落ちている。また、台風19号の被害で中央道、JR中央線、国道20号の不通が発生したため、県経済への影響が大きい。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・消費税が増税して冷え込んでいたところに、台風19号の被害が出て、県庁や市役所の職員の飲み会が軒並みキャンセルになっている。本当に大変なことになっている。
×	スナック（経営者）	お客様の様子	・全ての項目に着目しているので、選択肢全てを選びたいところで、本当に景気が悪い。原因が分かれば何とかしたいが、分からないので、困惑している。
×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・秋の最繁忙日となる3連休は台風19号の影響で、ほぼ客がいない状況だった。また、その後の交通機関の乱れや報道により予約のキャンセルが続いている。この地域の各宿泊施設の経営者とも話をしているが、どこも大幅に売上が落ちている。
×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・消費税増税の影響を大きく受けている。明らかに、施行後の来客数が落ち込んでいる。それ以外にも、台風19号の直接的な被害はなかったものの、間接的にキャンセルが発生しており、影響は大きい。
×	都市型ホテル（スタッフ）	それ以外	・台風19号の影響で、当日のキャンセルがかなりあり、売上が400万円マイナスとなっている。
×	旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・米韓中の貿易摩擦の影響が出ており、輸出入企業では、旅行の中止や延期が発生しており、客の動きが止まっている。また、台風19号の発生に伴い、企業も農家も甚大な被害が出ているため、旅行どころではない。
×	観光名所（職員）	来客数の動き	・当地は台風19号の被害はなかったが、交通機関の不通によるツアーキャンセル、一般、個人旅行の取り止めにより、来客数は大きく減少している。

	x	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・台風19号の影響によるクローズとゴルフプレーの自粛が続いている。前年の年間入場者数の約5%がキャンセルとなっており、大打撃である。
企業 動向 関連  (甲信越)		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在は良い方だが、増税後は受注が減少傾向にあり、今後の景気動向が心配である。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・以前、受注量が少ないと聞いていた取引先数件が、現在では受注が増えているため、やや良くなっている。
		食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・商材の受注点数が減っている。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上は前年比で僅かに上回っているものの、計画比では依然として遅れが生じている状況である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年の季節商材受注はあるものの、既存の店頭商材受注は低迷している。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は米中貿易摩擦の影響で、新規受注が減少している企業がある一方、国内自動車関連の受注残がある企業もあり、横ばいである。非製造業は製造業の影響を受け、設備投資の先送りなどで、建設、機械器具卸、貨物等関連産業で動きが弱い。一方、消費関連は一部で駆け込み需要がみられた。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要により一服感があり、今後の需要が見込めない。
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・台風19号や大雨の影響により、鉄道や高速道路が不通となった。来県者が大幅に減少したため、来場者数、売上共に激減している。
		x	その他製造業 [ 宝石・貴金属 ]（経営者）	受注量や販売量の動き
	x	新聞販売店 [ 広告 ]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・台風19号により、県内では北部を中心に被害を受けている。折込チラシを出稿していた小売店が被災し、折込チラシが中止となっている。また、各種イベントも自粛傾向となり、景気は格段に悪くなっている。
雇用 関連  (甲信越)		-	-	-
		-	-	-
		*	*	*
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業で台風19号の被害を受けたところもあり、近隣の交通網の乱れと同時に消費税増税による消費の低迷も重なり、求人に対しては様子見のようである。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・中国向けの出荷の落ち込みで、製造業求人は減少している一方で、サービス、運輸、建設業等の採用意欲は相変わらず高く、求人は高いレベルをキープしている。全体を通しては求人数は少しずつ減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業の新規求人数が連続して低下している。米中貿易摩擦や日韓関係の悪化等の影響が少ないと思われていた食品製造も減少傾向にある。食品製造は軽減税率の関係で、駆け込み需要は余りないが、消費マインドの低下のあおりを受けているのではないかと。
	x	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・雇用条件が安定しないなか甚大な水害があり、秋の収穫祭イベントが中止となっている。被害の影響が大きく、当社も含め各企業共、商談が進まず、方向が見えない状況である。今まで以上に丁寧な対応が望まれる。
	x	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・台風19号の浸水被害で、管内事業所に被害が出ている。直接の被害で「工場が稼働できない、事業が行えない、部品が調達できない」という話を聞いている。観光業からは、「観光客が減っている」との間接的な被害の話も出ており、景気は悪くなっている。